

## 市民意識調査票の修正について

補足資料

| ページ | 設問項目   | 委員からの質問・指摘事項（令和7年度第2回審議会）   | 事務局での修正点  | 発言委員 |
|-----|--------|---|---|------|
| 2   | (1) 問1 | (事務局にて見直し)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「あなたの性別は、次のどれにあたりますか。」の選択肢を「回答したくない」という意思をわかりやすくするため、修正する。</li> </ul> <b>4 回答できない</b>  |      |
|     |        | 70歳以上の年齢をひとまとめにしている理由は何か。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。」の選択肢について、平成28年度調査の区分のままとしていたので、以下のとおり選択肢を追加する。</li> </ul> <b>8 70歳代</b><br><b>9 80歳以上</b>  | 松原委員 |
| 5   | (3) 問6 | (事務局にて見直し)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>主に担っている人の選択肢について、「父・母・子など」がまとめられていたので、選択肢を「父」、「母」、「子など」に分ける。</li> </ul>  |      |
|     |        | 選択肢の中に「名もなき家事」を追加したらどうか。<br>PTA活動や自治会活動についても、女性に偏っていると思うので、選択肢に加えたらどうか。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下のとおり質問を修正する。<br/>「次にあげる家事や育児、<b>地域・社会活動</b>などについて、主に誰が担っていますか。」<br/>(※「地域・社会活動」を追加)</li> <li>以下の選択肢を追加する。<br/><b>⑦「地域・社会活動（PTA、自治会活動等）」</b></li> </ul> | 和田委員 |
|     | (3) 問7 | 選択肢に「3 介護を受ける人の子どもの妻」とあるが、子どもの夫の場合もあるため、「介護を受ける人の子どもの配偶者」とした方がよいのではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下のとおり選択肢を修正する。<br/><b>3 介護を受ける人の子どもの配偶者・パートナー</b></li> </ul>  | 小川委員 |

| ページ | 設問項目       | 委員からの質問・指摘事項（令和7年度第2回審議会）   | 事務局での修正点  | 発言委員 |
|-----|------------|---|---|------|
| 5   | (3) 問8     | (事務局にて見直し)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・負のイメージを持ちやすいため、以下のとおり質問を修正する。</li> </ul> <b>重度の介護認定を受けた</b> 高齢者や体の不自由な人の介護について、これからはどのような方法が望ましいと思いますか。<br>（※「寝たきりの高齢者」⇒「 <b>重度の介護認定を受けた高齢者</b> 」に修正） |      |
| 7   | (5) 問12,13 | 問12であなたとあなたの配偶者・パートナーの職業を聞いており、「非正規職員・従業員」を選んだ場合、問13で理由を答えることとなるが、ご自身と配偶者・パートナーともに非正規の場合には、どちらの回答を書けばよいか分からないのではないかと。 | ①ご自身について、②配偶者・パートナーについてそれぞれ回答の選択肢を設ける。  | 落合委員 |
|     | (5) 問13    | 非正規の仕事に就いた理由について、正規の仕事の求人がなかったというような社会情勢を示す理由も選択肢にあるとよいのではないかと。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の選択肢を追加する。</li> </ul> <b>7 正規職員としての募集がなかったから</b>  |      |
| 8   | (5) 問16    | 「男性が育児休業を取得することについてどう思いますか」の質問については、1か月間以上といった期間を記載した方がよいのではないかと。   | （原案のままとする）<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・どれくらいの期間、育児休暇を取得すればよいかは人それぞれ違うことから、期間を明記するのは難しいため。</li> </ul>   | 小川委員 |
|     | (5) 問17    | こども家庭庁が「イクメン」から「共育（ともいく）」という表現に変更している中で、「共に育つ」というワードを入れた方がよいのではないかと。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の選択肢を追加する。</li> </ul> <b>4 男女が共に家事・育児をする共育（ともいく）の時代であるから</b>  | 中島委員 |
|     |            | 男性が育児休業を取得することについて、「自分が育児に関わりたいという自発的な気持ちを尊重したいから」というような選択肢があってもよいのではないかと。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の選択肢を追加する。</li> </ul> <b>6 育児休業の取得を希望する男性を尊重したいから</b>   | 落合委員 |

| ページ | 設問項目       | 委員からの質問・指摘事項（令和7年度第2回審議会）  | 事務局での修正点   | 発言委員  |
|-----|------------|--|--|-------|
| 9   | (6) 問19,20 | (事務局にて見直し)   | ワーク・ライフ・バランスに関する質問であり、「(5)女性の社会進出について」と関連性があるため、設問項目の位置を変更する。                |       |
|     | (6) 問19    | (事務局にて見直し)   | ・以下のとおり注釈を追加する。<br>※地域・個人の活動とは…趣味・学習・スポーツのサークル、自治会、消防団、PTA、ボランティア活動、国際交流活動など |       |
| 10  | (7) 問22    | 選択肢1の「進路指導」という言葉について、これからはキャリア教育が大事になってくるので、「キャリア教育」の方がよいのではないか。   | ・以下のとおり選択肢を修正する。<br><b>1 キャリア教育</b> において、男女の別なく <b>自分らしい生き方を実現できるよう配慮する</b>  | 春日井委員 |
|     |            | 選択肢4「管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく」の主語は誰か。<br>(経験のない人をいきなり管理職にすることはできない。)   | ・以下のとおり選択肢を修正する。<br><b>4 管理職（校長や教頭）に女性が増えるよう、男女関わらず活躍できる環境を整備する</b>          |       |
|     |            | 選択肢5「学級委員などの選出で、会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子などの役割分担意識をなくす。」について、今の教育現場でもそのような役割分担意識があるのか。                                 | 以下の選択肢を削除する。<br>「学級委員などの選出で、会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子などの役割分担意識をなくす。」             | 中島委員  |
|     |            | 選択肢5「学級委員などの選出で、会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子などの役割分担意識をなくす。」について、アンコンシャス・バイアスが浸透してきている中で、誘導しているように取られないか。                  |  | 春日井委員 |
|     | (事務局にて見直し) | ・以下のとおり質問を修正する。<br>「男女共同参画社会」を実現していくために、学校教育の場で <b>必要なことは何だ</b> と思いますか。<br>(※「学校教育の場で力を入れるべきこと」⇒「学校教育の場で必要なこと」に変更) |  |       |

| ページ | 設問項目    | 委員からの質問・指摘事項（令和7年度第2回審議会）                         | 事務局での修正点   | 発言委員 |
|-----|---------|---|--|------|
| 11  | (8) 問23 | セクハラとマタハラについての質問になっているが、労働局で一番多い相談はパワハラに関することである。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下のとおり選択肢を追加する。</li> </ul> あなたは、この3年間でハラスメント（セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、 <b>パワー・ハラスメント</b> など）を受けたことがありますか。<br>（※「パワー・ハラスメント」を追加で例示）  | 栗栖委員 |
|     |         | (事務局にて見直し)  | セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パワー・ハラスメントについての説明を追記する。   |      |
|     | (8) 問24 | 選択肢がほとんどセクハラの内容ばかりとなっている。                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の選択肢を追加する。</li> </ul> <b>10 暴言・侮辱を受けた</b><br><b>11 無視される、仕事を与えられないなどの扱いを受けた</b>   | 栗栖委員 |
| 12  |         | (事務局にて見直し)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>知ってもらいたい内容ではあるが、次期計画に反映させる内容ではないため、以下の設問を削除する。</li> </ul> 「あなたは、セクシュアル・ハラスメントが同性の間でも成立することを知っていますか。」  |      |
|     | (8) 問25 | (事務局にて見直し)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下のとおり選択肢を修正する。</li> </ul> <b>3 社会的に問題になっていることは知っている</b><br>（※「テレビや新聞などで問題」⇒「社会的に問題」に修正）<br><br><b>5 身近で見聞きしたことはない</b><br>（※「身近で」を追加）<br><br><ul style="list-style-type: none"> <li>以下のとおり選択肢を追加する。</li> </ul> <b>6 回答しない</b> |      |

| ページ | 設問項目    | 委員からの質問・指摘事項（令和7年度第2回審議会）                                  | 事務局での修正点  | 発言委員 |
|-----|---------|--|---|------|
| 12  | (8) 問26 | 選択肢1と選択肢7の「どこ（だれ）にも相談しなかった」が重なっている。                        | ・ 選択肢7の「どこ（だれ）にも相談しなかった」を削除する。  | 中島委員 |
|     | (8) 問26 | (事務局にて見直し)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以下のとおり選択肢を修正する。</li> <li>2 家族、<b>親族</b><br/>(※「親族」を追記)</li> <li>4 <b>民間の専門家や専門機関</b>（医師、カウンセラー、<b>弁護士</b>など）<br/>(※「民間の」「専門機関」「弁護士」を追記)</li> <li>6 <b>行政</b>の相談機関<br/>(※「行政の」を追記)</li> <li>・ 以下の選択肢を追加する。</li> <li>7 <b>その他</b></li> <li>・ 以下の選択肢を削除する。<br/>「回答しない」</li> </ul> |      |
| 13  | (9) 問28 | アンコンシャス・バイアスの説明のところに啓発誌「その子”らしさ”を大切にするために」のQRコードを掲載してはどうか。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ QRコードを追加及び以下の説明を追加する。</li> <li>※岐阜市では、アンコンシャス・バイアスの啓発誌をホームページに掲載しています。</li> <li>こちらのQRコードからご覧いただけます。</li> </ul>  | 中島委員 |

| ページ | 設問項目     | 委員からの質問・指摘事項（令和7年度第2回審議会）                     | 事務局での修正点  | 発言委員 |
|-----|----------|---|---|------|
| 14  | (11) 問31 | 女性センターの場所を記載しなくてよいか。                          | （原案のままとする）<br>・女性センターの説明文の中に場所の記載があることから、周知目的は果たされているため。  | 中島委員 |
|     | (11) 問32 | （事務局にて見直し）                                    | ・以下のとおり選択肢を修正する。<br>1 子育て<br>（※「孫育て」を削除）  | 和田委員 |
|     |          | 選択肢2「婚活・結婚生活」について、女性センターが婚活を支援しているのか。         | ・女性センター事業の中で、婚活をテーマにしたものを実施していないため、以下の選択肢を削除する。<br>「婚活・結婚生活」  |      |
| 15  | (11) 問33 | （事務局にて見直し）                                    | ・以下のとおり選択肢を修正する。<br>2 女性を政策決定の場や管理職に積極的に起用し、 <b>女性リーダーの養成に取り組む</b><br>（※「女性リーダーの養成に取り組む」を追記し、別に単独であった選択肢「女性リーダーの養成」を削除）<br><br>4 職場における男女の均等な取り扱いへの <b>周知・啓発</b><br>（※「周知・啓発」を追記）<br><br>・以下の選択肢を追加する。<br><b>3 女性の再就職支援につながる取り組み（資格取得支援）などの推進</b> | 和田委員 |
|     |          | 選択肢10「時間外労働の削減と労働環境の整備の働きかけ」に労働時間の短縮を入れたらどうか。 | ・以下のとおり選択肢を修正する。<br>10 <b>労働時間の短縮</b> や時間外労働の削減、労働環境の整備の働きかけ  |      |